

# 在日朝鮮人と差別

---

210781136 木下小夏

# 目次

はじめに

## 第1章 「在日」の歴史

第1節 在日朝鮮人の始まり

第2節 関東大震災での朝鮮人殺害

---

第3節 民族の解放と在日朝鮮人

## 第2章 第2次世界大戦後の在日朝鮮人

第1節 朝連・民団の結成について

第2節 朝鮮学校について

第3節 帰国問題

## 第3章 在日に対する人権的差別

第1節 戦後日本の再入国許可制度と協定永住

第2節 指紋押捺の強制

第3節 参政権回復運動

---

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

第1節 在日朝鮮人の国籍

第2章 ヘイトクライムとヘイトスピーチ

第3節 ウトロ放火事件

今後の展望

# はじめに

1. 在日韓国人女性、ヘイトスピーチによる精神的苦痛

→計132万円の賠償

2. 人種差別的なTwitter投稿による在日コリアン女性の名誉棄損

→罰金30万円

3. インターネット上の人種差別的発言による精神的苦痛

→計77万円の賠償

⇒在日朝鮮人に対する差別について振り返り

# 第1章 「在日」の歴史

## 第1節 在日朝鮮人のはじまり

- i) 1914年以降、朝鮮人の本格的な渡日
  - ア.日本の労働力不足
  - イ.朝鮮人への注目（低賃金労働者）
- ii) 在日朝鮮人に対する変化
  - ア.1918：朝鮮人に対する「労働者募集取締規則」
  - イ.1919：三・一独立運動
    - 無制限で朝鮮人の受け入れ開始

# 第1章 「在日」の歴史

ウ.1923：関東大震災

→日本人による在日朝鮮人の大量虐殺

エ.1939：皇民化のための同化政策開始

→戦争協力を強制

⇒在日 = “弾圧の対象”へ

# 第1章 「在日」の歴史

## iii) 都合の良い扱い

ア. 世界恐慌の影響によるしわ寄せ→朝鮮人へ

イ. 1939 : “創氏改名”の強要

ウ. 1941 : 太平洋戦争

→徴兵令による朝鮮人の強制連行

⇒在日朝鮮人の急激な増加

# 第1章 「在日」の歴史

## 第2節 関東大震災での朝鮮人殺害

### i) 事実無根のデマによる朝鮮人殺害

内容：“朝鮮人による放火” “不逞人襲来”

殺害者：軍隊や警察、自警団

### ii) デマの起因「移牒」

内容：不逞鮮人との戦闘命令



# 第1章 「在日」の歴史

被害者数：2600~6000人

→数千の朝鮮人を虐殺

# 第1章 「在日」の歴史

## 第3節 民族の解放と在日朝鮮人

### i) 民族の解放

ア.1945年にポツダム宣言受諾

→朝鮮民族の解放

イ.在日同胞：不安

ウ.日本政府：無責任

# 第1章 「在日」の歴史

## ii) 朝聯の結成

ア. 帰国同胞の援助

イ. 帰国同胞擁護会や朝鮮人救護会の結成

## iii) 朝鮮と在日朝鮮人の位置づけ

ア. 朝鮮は“特殊地位国”

GHQが日本政府に指示

イ. 在日朝鮮人は“外国人”

# 第1章 「在日」の歴史

## ii) 朝鮮学校 v s 日本政府、GHQ

ア.1949：朝聯と民青の強制的な解散

朝鮮学校の閉鎖命令

⇔一部の学校：閉鎖免除

イ.1952：在日の日本学校への入学制限

ウ.1955：朝鮮人による学校教育の再開

# 第1章 「在日」の歴史

## iii) 同化政策の強要

ア.日本：民族教育の破壊

⇔在日：あらゆる弾圧にも対抗

イ.帰化の強要

a.同胞子弟の日本学校への入学仕向

b.朝鮮学校の卒業生：日本学校の入学拒否

## 第2章 第二次世界大戦後の在日朝鮮人

### 第1節 朝聯・民団の結成について

#### i) 在日朝鮮人聯盟（朝聯）の結成

ア. 総結集体（同胞たちの思想・理念）

イ. 共産系人士による民族陣営排除

→ 在日同胞の資産：共産主義者の支配下

## 第2章 第二次世界大戦後の在日朝鮮人

### ii) 建青と建同の結社

ア.自由民主主義：朝聯の共産化に反旗

イ.建青：朝鮮建国促進青年同盟

ウ.建同：新朝鮮建設同盟

→1946年10月3日：民団の結成

## 第2章 第二次世界大戦後の在日朝鮮人

### iii) 民団の改称

ア.1948年：民団

“在日同胞の唯一の民主団体”

イ.在日朝鮮居留民団

→在日本大韓民国居留民団



# 第2章 第二次世界大戦後の在日朝鮮人

## 第2節 朝鮮学校について

### i) 祖国の教育

a. 国語講習所の開設（次期に学校へ再編）

b. 朝鮮語、朝鮮史

c. 朝鮮学校は集いの場

### ii) 朝鮮学校に対する偏見

a. 民族学校＝米国政策に反対

b. 共産主義思想の普及の場、共産主義者の巣窟

→ 朝鮮学校閉鎖命令

## 第2章 第二次世界大戦後の在日朝鮮人

### iii) 朝鮮人の怒り

ア.大阪：朝鮮デモ隊による警察への発砲

イ.神戸：「非常事態宣言」の発令

＝阪神教育闘争

ウ.在日朝鮮生徒への教育の分裂

## 第2章 第二次世界大戦後の在日朝鮮人

### 第3節 帰国問題

- i) 日本敗戦時の帰国同胞
  - ア.朝鮮への早期帰還の要求
  - イ.下関、仙崎、博多へ殺到→混乱
- ii) 定住在日朝鮮人の帰国熱
  - ア.定住者
    - a.職のために渡日
    - b.留学生

## 第2章 第二次世界大戦後の在日朝鮮人

イ.祖国の解放に対する興奮

ウ.彼らの帰国熱支援＝朝聯

iii) 帰国同胞に対する行動

ア.船舶の数不足

→米軍輸送艦の使用

イ.万景峰号

イ.閣議了解（北朝鮮の外交政策に呼応）

ウ.赤十字国際委員会：協力

# 第3章 在日に対する人権的差別

## 第1節 戦後日本の再入国許可制度と協定永住

### i) 再入国許可について

ア.目的：入国手続きの簡略化

イ.在日朝鮮人の出国時に必要

### ii) 協定永住と特例永住

ア.協定永住

a.日韓法的地位協定：韓国籍取得者→協定永住

⇒協定永住者とそれ以外の格差大

# 第3章 在日に対する人権的差別

## イ.特例永住

- a.入管法：協定永住者以外→特例永住  
数次再入国許可の新設  
再入国許可書の交付

## iii) 在日と再入国許可制度

### ア.再入国制度に対する新たな視点

- a.国連自由権規約人権委員会による勧告
- b.主張：自国と国籍国の違い

# 第3章 在日に対する人権的差別

## イ.在日と再入国許可制度

a.日本：自らの国益実現の手段

b.在日：再入国の支え

⇒在日朝鮮人の歴史的形成のあり方に対立

# 第3章 在日に対する人権的差別

## 第2節 指紋押捺の強制

### i) 指紋押捺拒否者

ア.ハンジョンソク（初の拒否者）

対する日本：指紋押捺制度＝違憲・違反←不認定



# 第3章 在日に対する人権的差別

## イ.イサンホ

a.逮捕、3日間の拘留

b.60通ほどの脅迫じみたはがき

## ii) 拒否者の意志

ア.“法の不条理”を拒否（×日本社会そのもの）

イ.拒否ではなく“参加”を希望

## 第3章 在日に対する人権的差別

### iii) 指紋押捺の場

#### ア.指紋押捺経験者：申英子

##### a.指紋押捺経験の失念

b.原因 ①大きなショック→記憶から排除

②バックグラウンドの非保持

#### イ.犯罪者のような扱い

ひどい場所での写真撮影

→彼らの人格発達に大きな影響

## 第3章 在日に対する人権的差別

### ウ.指紋押印制度の改定

- a.1993:永住者・特別永住者だけ指紋制度免除
- b.2000:すべての外国人に対して指紋制度を廃止

# 第3章 在日に対する人権的差別

## 第3節 参政権回復運動

### i) 在日朝鮮人の参政権の歴史

ア.戦前期には参政権を保持

イ.内務省の原案：“在日も選挙権を保持”

⇔一か月後、在日らの参政権停止

a.参政権停止理由

ポツダム宣言の受諾→彼らの日本国籍喪失

## 第3章 在日に対する人権的差別

### ii) 在日朝鮮人の人権問題の主導

#### ア. 朝聯

a. 北朝鮮サイド

b. 参政権の要求運動の展開

(参政権禁止直後から約10年間)

# 第3章 在日に対する人権的差別

## イ.民団

a.韓国サイド

b.1987年：地方参政権の要求

⇒1990年代、日本全国で法廷闘争の活性化

## iii) 地方参政権についての裁判

ア.1995年の裁判

→外国籍者に対する参政権の付与：国会に決定権

# 第3章 在日に対する人権的差別

イ. 参政権論争の舞台：法廷→国会

⇒ 参政権回復問題の再審議の重要性

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### 第1節 在日朝鮮人の国籍

- i) 日本国籍取得者：1952~2008に29万人越え
  - ア.在日の日本国籍取得→様々な苦悩や決断
  - イ.国籍取得＝同化という発想



## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### ii) 同化強要の姿勢の変化

ア. 民族名で日本国籍の取得可

イ. 同化強要の姿勢、本国志向の希薄

→ 日本国籍取得に対する抵抗感の減少

ウ. 1990年代以降：3世世代などの国籍取得者増加

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### iii) 当人の政治的帰属意思

ア.朝鮮＝“分裂国家”

イ.日本居住者の南北どちらへの帰属意思

→具体的行為

ex) パスポートの取得、在外国民登録

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### 第2節 ヘイトクライムとヘイトスピーチ

#### i) 両者の違い

ア.ヘイトクライム：差別意識による物理的暴力

イ.ヘイトスピーチ：発言・表現のみ

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### ii) ヘイトクライムに対する問題視

ア. 2016年5月：ヘイトスピーチ解消法の成立

イ. 日本：ヘイトスピーチのみ問題→誤解

a. ヘイトスピーチとヘイトクライム（互換的）

b. 日本＝銃社会 → ○

ヘイトクライムの非存在 → ×

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### iii) 事件の代表例

#### ア. 京都朝鮮学校襲撃事件

a. 学校による公園の不法占拠に対し抗議

b. 1200万円の損害賠償命令

#### イ. 朝鮮総連襲撃事件

a. 右翼による朝鮮総連への銃撃

→ 日本：ヘイトスピーチとヘイトクライム両者の存在

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### 第3節 ウトロ放火事件

#### i) 概要

ア.犯人：有本匠吾

イ.内容：愛知の在日関係の建物焼損

ウトロ地区の木造倉庫、周辺住宅全焼

ウ.重要点：標的＝在日コリアン

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### ii) 犯行動機

ア. 在日の不当な利益→嫌悪感、敵対視

イ. 犯人自身の同時期の離職→自暴自棄

→目的：犯行による世間からの注目

ウ. 行政や日本社会への意義＝反日 →非容認

## 第4章 在日朝鮮人の現状とヘイトクライム

### iii) 犯人について

ア.情報収集源：SNSやネット掲示板

イ.不信感：在日コリアン＝戦争の被害者→支援

ウ.差別、偏見、ヘイトクライムの感情→正当化



# 今後の展望

人種差別に対する“肯定” or “否定”

-肯定-（在特会）

- ・年金...日本人：25年の掛け金が必要

在日：年金の代わりに月額いくらか

- ・生活保護...容易に生活保護の取得

→ “在日特権”に対する違和感

# 今後の展望

-否定-

“差別はよくない”→なくすための取り組み

- 人種差別撤廃基本法
  - ヘイトスピーチ解消法
- 人種差別撤廃法
- 人種等差別撤廃委員会

→差別を非容認

# 今後の展望

後者の意見を支持

- ・差別否定

→差別＝精神的苦痛の原因

- ・在日2, 3世は生まれが日本

→自らの選択ではない

→在日の歴史、背景、在日特権の現状の理解が必要